

新生児搬送と NICU 収容児の日米医療費比較

(分担研究：新生児救急医療システムに関する研究)

戸 莉 創

要約：新生児搬送を小児科医の無料奉仕で行っている施設が、愛知県内で搬送施行施設の43%を占め、事故などの保障を含め早急に対策をたてる必要がある。極小未熟児の医療では、人件費を含む医学管理料、入院料が米国の13分の1と、検査処理料(1:2.8)、薬剤料(1:6.5)に比較してかなり低く、しかも本邦のNICU加算期間も不適當に短い。

見出し語：新生児搬送, NICU, 医療費

研究方法：愛知県下主要52施設にアンケートによる搬送体制に関する調査を試みた。また、昭和63年度に名古屋市立大学病院 NICU に入院した1,000 g 未満の超未熟児の入院中の総医療費を調査するとともに、米国ジョジタウン大学 NICU で治療された極小未熟児と名古屋市立大学病院 NICU で治療された極小未熟児で

の医療費とその内訳を比較した。

結果：表1〔(1)と(2)〕に新生児搬送行為に対する保障状況を示した。新生児搬送を施行している施設のうち42.9%は無報酬で施行しており、昭和61年の1年間に無報酬で搬送入院した患者は391人、全搬送入院数の54.8%に達していた。表2に昭和63年度に名古屋市立大学

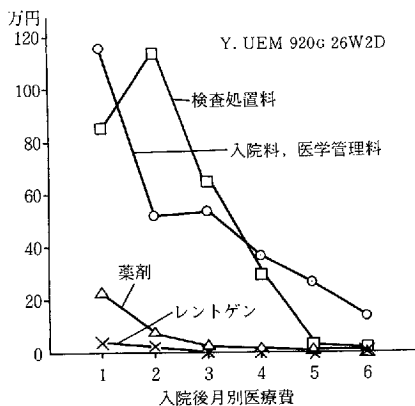


図. 入院後月別医療費 (表5に対応)

表1 搬送行為に対する報酬(1)

新生児搬送施行施設	14
報酬全くなし	6
時間外手当はあり	3
往診料として請求	3
その他	2

表1 搬送行為に対する報酬(2)

新生児搬送施行施設	14
搬送手当支給なし	6 (42.9%)
新生児搬送件数(昭和61年)	713
無報酬搬送入院数(昭和61年)	391 (54.8%)

表 2 超未熟児総医療経費 (昭和63年度)

症例	出生体重 (g)	入院期間 (月)	総医療経費 (万円)
1	635	7	477
2	670	7	457
3	696	6	634
4	800	5	405
5	800	10	796
6	815	7	312
7	890	8	701
8	920	6	477

表 3 ジョージタウン大学極小未熟児4ヶ月の医療費 (\$)

保育器収容 (131日)	122,000
NICU 人件費	118,000
検査費	40,250
吸入治療	22,230
薬剤	15,000
心肺モニター	14,960
レントゲン	8,730
消耗物品	6,960
外科, 麻酔	6,500
採血, 血液処理	5,230
産科医へ	2,760
その他の医師へ	2,500
その他の検査	1,360
合 計	336,480

病院 NICU に入院した1,000 g 未満の超未熟児 8 名の総医療経費を示し、表 3 に米国ジョージタウン大学 NICU の極小未熟児例での4ヶ月の医療経費を米国ドルで示した (1ドル=130円で換算すると総額4,374万円となる)。表 4 に NICU で治療された極小未熟児の医療経費の内容の対比を

表 4 極小未熟児4ヶ月の医療費(万円)

	ジョージタウン大学	名市大	対比
1. 入院費, 医学管理料 (うち人件費)	3473 (1534)	260 (302*)	13.4 (5.1)
2. 検査処置	830	293	2.8
3. 薬剤	195	30	6.5
4. レントゲン	113	8	14.1
5. その他, 他科医へ	153**	0	—
合 計	4764	591	8.1

*医師 4人/15床, 看護婦 4.5人/15床として計算
**産科, 麻酔科, 外科とある。

示した。さらに、表 5、図に名古屋市立大学 NICU の極小未熟児例 (RDS にて人工サーファクタント使用) の月別の医療経費を示した。

考察：新生児搬送が小児科医の無料奉仕で行われている場合が約半数あり、事故等の対応を含めその保障制度が早急に考えられねばならない。NICU での医療経費は米国の 8 分の 1 となっている。また、月別に見ると、NICU 加算が 30日で切れるため、重症管理はその後も続いているにもかかわらず2ヵ月以降が不適当に安価となっている。以上より、次のようにまとめることが出来る。

1) 新生児搬送行為に対する保障制度を早急に確立する必要がある。

2) 極小未熟児や超未熟児では重症期間に検討の必要があり、医学管理の必要性に適合した NICU 加算が必要である。

例. 1,500~1,000 g 1ヵ月
1,000 g 未満 2ヵ月

表 5 入院後月別医療費(万円) Y. Uem, 920 g, 26週2日

	1ヶ月目	2ヶ月目	2ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目
1. 入院料, 医学管理費	115.7	52.3	54.6	37.3	26.5	12.9
2. 検査処置	83.7	114.9	64.8	29.1	1.3	0.3
3. 薬剤	21.5	7.6	1.0	0.2	0.2	0.1
4. レントゲン	3.6	2.9	0.9	0.1	0.2	—
合 計	207.5	177.7	121.3	46.7	30.2	13.3



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:新生児搬送を小児科医の無料奉仕で行っている施設が、愛知県内で搬送施行施設の43%を占め、事故などの保障を含め早急に対策をたてる必要がある。極小未熟児の医療では、人件費を含む医学管理料、入院料が米国の13分の1と検査処理料(1:2.8)、薬剤料(1:6.5)に比較してかなり低く、しかも本邦のNICU加算期間も不適當に短い。